

学校名	南会津郡南会津町立檜沢中学校	校長	目黒 和志
住所	福島県南会津郡南会津町福米沢字大田1340番地1		
TEL	0241-62-0026	ホームページアドレス	http://www.minamiaizu.gr.fks.ed.jp

地域に支えられて70年 ありがとうございます

昭和22年の新学制の発布に伴い、新制「桧沢村立桧沢中学校」として発足した本校も、年々生徒数が減少し、ついに今年度末で閉校することになりました。創立以来70年、地域の学校として、地域の皆様が大切に守り育ててくださった学校でした。

本校の取り組みについては、これまで何度もこの「学校自慢コーナー」に書かせていただきましたので、今回は本校の沿革や歴史について簡単に紹介させていただきます。

本校創立の頃

昭和22年5月3日、新憲法公布の日を期して開校式を挙行、旧青年学校と小学校の校舎を借用して本校がスタートした。

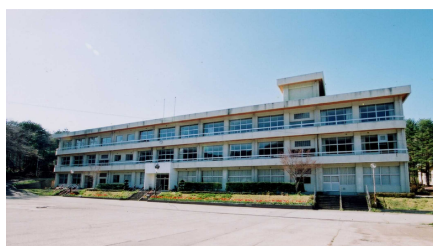
その後、昭和24年に旧校舎落成、昭和27年に大講堂落成、以来着々と学校設備が整い、昭和38年の校庭造成をもって一段落した。学校沿革誌を見ると、この間、村民総出で敷地の整地作業を行ったり、生徒・保護者の勤労奉仕作業の収益金や村民の寄付金等で学校図書や放送設備を購入したりしたことがわかる。戦後の混乱期、教育環境の充実を最優先に、村民一人一人の熱意と努力でつくり上げられた学校であった。



校門より見た旧校舎全景

校舎改築の頃

昭和54年3月に新校舎が落成。現在の鉄筋コンクリート3階建ての校舎で学校生活が始まった。また昭和50年代以降、小規模校ながら中体連の各種大会で目覚ましい活躍が見られた。特に剣道やスキーで全国レベルの実績を残す生徒を輩出し、その生徒たちが今、保護者として本校の部活動を支えている。



現在の檜沢中学校校舎全景

平成を迎えて

平成になってからの沿革誌を見て気づくことは、多くの研究指定校としての取り組みである。平成8年度のT・T推進モデル事業の指定を皮切りに、大きなものだけでも連携型中高一貫教育（H17～）、英語が使える人材育成プラン（H17～）、学習サポート事業（H18～）、学校支援地域本部事業（H21～）と立て続けに指定を受け、学校・家庭・地域をあげて積極的に取り組んできた。その結果、本校の歴代の生徒は、学習面でも部活動でも、大規模校に勝るとも劣らない実績をあげてきた。これまで支えてくださった地域の皆様に心から感謝したい。



ライブ授業を参観する
内堀雅雄副知事（当時）

そして、今……

本校は今年度末で閉校し、現在の1年生と2年生は、次年度からは田島中学校に通学することになる。田島中学校との連携を密にし、生徒一人一人が夢や希望を持って、前向きな気持ちで新年度を迎えられるようにするとともに、70年の歴史に幕を下ろす最後の1年、檜沢中学校が有終の美を飾れるよう、全職員一丸となって教育活動に取り組んでいるところである。